

## 学校における猛暑災害対策について

教育部 教育総務課【ひかり】・学校教育課【きぼう】

焼津市では、児童・生徒の健康を守るために猛暑への対策を検討し、取組を進めております。  
第 3 回焼津市総合教育会議以降の取組状況等を報告します。

### 1 焼津市の気象状況(令和 7 年 5 月から 10 月まで ( )内は昨年同時期)

- ・猛暑日(最高気温 35 度以上)・・・ 8 日 (昨年 14 日)
- ・真夏日(最高気温 30 度以上)・・・ 75 日 (昨年 64 日)
- ・熱中症警戒アラート発表・・・・・・・・ 40 回 (昨年 44 回)

### 2 令和 7 年度 学校における熱中症発症の状況

志太消防からの報告によりますと、本年度、熱中症疑いのため救急搬送されたのは、道路上で小学生が1名、授業中に中学生が1名で、いずれも軽症でした。焼津市全体での熱中症疑いによる搬送人数が 83 名であったことを鑑みると、各小中学校に設置した屋内運動場の空調やミストシャワー、小学生に配付した背あてパット等、猛暑災害対策の効果があったと考えられます。

【年齢区分のうち、少年内訳】

少年 内訳	令和 7 年度	令和 6 年度	前年度増減
小学生	1 人	2 人	▲1
中学生	1 人	0 人	1
高校生	1 人	7 人	▲6
少年(満 7 歳以上満 18 歳未満)合計	3 人	9 人	▲6

### 3 令和 7 年度の具体的な取組の実施状況

#### (1)施設面

取組	対象	実施状況
体育館への 空調設備設置	全中学校9校	・令和 6 年度完了
	全小学校 13 校	・令和 7 年 8 月末完了
ミスト発生機の 効果検証	豊田小学校 和田中学校	・グラウンドでの活動時の暑さ対策 検証期間(令和7年5月 19 日(月)～23 日(金)) 運動会・体育大会の事前練習および当日を含めた 5 日間に実施。 【学校からの意見(抜粋)】 ・風向き・設置場所によって効果が大きく左右する。 ・1台では足りない(効果を上げるには複数台必要)。 ・一部の児童が授業に集中できない。

## (2)小学生登下校時熱中症対策

取組	実施状況
保冷剤付ランドセル背あてパット	登下校時の熱中症対策として、小学校1年生と転入生に、配布した。
クールタオル	※令和6年度に1～6年生の全児童に配布

## (3)焼津市立小中学校熱中症対策ガイドラインの活用

ガイドラインを活用し、各学校で子どもを熱中症から守る取組を行いました。

## 4 来年度に向けて

### (1)施設面の対策

施設面においては、グラウンド活動時の暑さ対策として令和7年度はグラウンド内でのミスト発生機の効果検証を行いました。実験では、風向き等の影響を受けやすく、効果が限定的であったため、令和8年度は、グラウンドでの活動直後にクールダウンエリアを設け、グラウンド内にミスト柵を設置し、効果検証実験を行いたいと考えています。

### (2)ソフト面の対策

#### ① 小学生登下校熱中症対策

本年度取り組んだ「保冷剤付き背あてパット」と「クールタオル」が効果的であり、子どもや保護者にも好評であったので、引き続き来年度も新1年生と転入生に配付していきます。

#### ② 熱中症対策ガイドラインの点検とガイドラインに則った熱中症対策の周知及び実施

ガイドラインについては、学校現場で実際に活用した中での課題について集約するとともに、来年度もガイドラインの周知の徹底や取組の依頼を行っていきます。

#### ③ 教育課程の検討

教育課程の検討については、猛暑の状況を検証し、更なる対策の必要性について検討していきます。例えば、新体力テストや外での活動を含む学校・学年行事等の実施時期及び実施方法について、本年度の状況を検証し、より安全に、そして子どもたちが生き生きと活動できるように他の行事等も含め検討していきます。また、各校で取り組んだ熱中症予防対策についても情報を共有し、来年度の教育課程の検討に生かしていきます。